

2022 年度 第 26 期介護教員講習会

「学生指導・カウンセリング」シラバス

1. 科目名 学生指導・カウンセリング

2. 「コミュニケーション技術」の学びへの招待

この授業では、基本的な人間心理の理解を踏まえて、学生指導のための知識や技法を学びます。その際、とりわけカウンセリング的な対応の理論と技法に重点を置きます。カウンセリングは、人と人の関わりによって成立しますから、実際に見たり聞いたりするだけでなく、体験的に理解する必要もあります。そうした意味で、実技の演習を通して学ぶ方法も取ります。こうした学修を通して、学生との良好な関係に立脚した指導や、時に必要になるかもしれないカウンセリング的な関わりを基礎を、お伝えすることができると考えています。

3. 科目担当者

こんどう たく
近藤 卓（日本ウェルネススポーツ大学 教授）

東京大学大学院教育学研究科博士課程満期退学。専門は健康教育学。学位は博士(学術)。高等学校教諭（工業、社会）（約 10 年）の後、ロンドン大学、東海大学、山陽学園大学などを経て現在は日本ウェルネススポーツ大学で研究と教育に従事するかたわら、学生相談を担当。また、臨床心理士として中学校・高等学校でのスクール・カウンセラー（約 35 年）など学校教育の場での経験豊富。日本いのちの教育学会理事長、日本学校メンタルヘルス学会理事などを兼務。

4. 授業時間

2023 年 1 月 7 日（土）の午後 1 時 30 分から 4 時 40 分、および 1 月 8 日（日）と 1 月 22 日（日）の 9 時 20 分から 16 時 40 分です。

5. 授業実施方法

Zoom での開講。

6. 担当講師とのコミュニケーション

敬心学園の事務局経由(supportkaikyoin@keishin-group.jp) で、コミュニケーションを取らせて頂きたいと考えています。

7. メインテーマ

介護福祉士養成のための「学生指導とカウンセリング」の理論と方法

8. キーワード

学生相談、臨床心理学、コミュニケーション、人間関係、カウンセリング、

9. 学習の目的

この授業を通して学ぶことは、学生指導のための人間心理の理解と、それを踏まえてのカウンセリングの理論と方法です。学習の目的は、理論と方法を身につけてそれを実際に体験できること、そしてそれらの全てを教師として、教育することができるようになることです。

10. 達成課題

学生指導やカウンセリングを身に付けるためには、机上の学習だけでは不十分なのは言うまでもありません。そのために、1対1のやりとり、小集団での話し合い、より大きな集団での口頭発表など、様々な形態でのやり取りの実践を、実技を通して学ぶことが必要になります。ただ、今回はオンラインでの学習となりますので、そうしたことを実現するために様々な工夫が必要だと考えています。

この授業を通して学ぶことは、文字通り「学生指導」と「カウンセリング」です。その達成課題は、知識を得ることにとどまらず、技術を身につけてそれを実際に体験できること、そしてもちろんそれらの全てを他者に伝えられること、つまり学生指導とカウンセリングについて教育することができるようになることです。

11. 授業の方法

この科目は、単なる知識として理解することにとどまらず、それを実際に使えることを目指しています。そのために、授業ではできるだけ対話的な活動や、参加型学習（例えば輪読会形式やグループワークなど）、課題解決型学習などで、具体的な技術を身につけていただけるように支援します。ただ、zoomでのオンライン形式の授業のため、かなりの制約がある中で、できる限り上記の形に近づけることを試みたいと考えています。

12. 教材・テキスト

テキストは指定のものはありません。参考図書は、授業時に適宜ご紹介いたします。

13. その他教材

授業では必要に応じて印刷教材を配布し活用します。以下に列挙した近藤卓の著書等も、授業の理解を助けることに役立つと思いますので参考にしてください。

近藤卓著『PTGと心の健康』金子書房、2022

近藤卓著『誰も気づかなかった子育て心理学』金子書房、2020

近藤卓著『いじめからいのちを守る』金子書房、2018

近藤卓著『子どもの自尊感情をどう育てるか』ほんの森出版、2013

近藤卓著『生活カウンセリング入門』大修館書店、1998

14. 他の授業との関連（準備学習の内容）

他の授業としては、「コミュニケーション技術」「心理学」「教育心理学」などが、特に関係の深い授業科目です。カウンセリングの理論や技法に関する書籍は巷に溢れています。どのような理論でも技法でも構いませんので、関心を持ったものを一つ手にして紐解いてみて頂きたいと思います。その上で、そこで得たものを含めて、学生指導とカウンセリングについての知識を、この授業によって整理していくことができることを願っています。

15. 成績評価の方法・採点基準

毎回の授業への参加度（質問等の発言、グループ討議での発言・参加の様子、全体への発表の出来具合）20%と、授業日ごとに提出する「リアクションペーパー」3通の評価 20%、授業最終日に提示するレポートの評価 60%とします。

16. 毎回の学習予定と主題

1. **1月7日（土）3限；心をどう理解するか**
自己紹介。理論から応用へ。どこを見るか。多面性と歴史性など。（講義＋発表と話し合い）
2. **1月7日（土）4限；心と健康**
向き合う関係と並ぶ関係。コミュニケーションと心の健康。（講義＋ミニテスト①＋リアクションペーパー①）
3. **1月8日（日）1限；いじめと不登校**
いじめや不登校の実態。それらの問題の解釈や対処方法。（講義とビデオ「先生あのね」視聴）
4. **1月8日（日）2限；心の病理**
心の低温やけど、自殺・自死、うつ、統合失調症、PTSD、PTG。（講義とビデオ「心の健康とストレス対処」視聴＋ミニテスト②）
5. **1月8日（日）3限；カウンセリングの理論**
来談者中心療法、精神分析療法。（講義とビデオ「クリニカル・コミュニケーション」視聴）
6. **1月8日（日）4限；カウンセリングの実際①**
来談者中心療法の実際例を見る。（講義とビデオ「グロリアと3人のセラピスト」視聴＋ミニテスト③＋リアクションペーパー②）
7. **1月22日（日）1限；カウンセリングの実際②**
カウンセリングの基本的な考え方と流れ。（講義とビデオ「カウンセリング」視聴）
8. **1月22日（日）2限；事例研究①**
事例「グレーテル」の事例記録を書き、事例を解釈する。（講義とビデオ「昔話法

延」視聴＋グループ討議と発表＋ミニテスト④)

9. 1月22日(日)3限；事例研究②

事例「マキコ」の事例を解釈し理解する。(講義＋グループ討議と発表)

10. 1月22日(日)4限；学生指導とカウンセリングの課題

学生指導とカウンセリングにおける現状と課題。(ロールプレイ＋意見発表＋科目終了のまとめテスト＋リアクションペーパー③)

17. ホームワーク

テキスト(いわゆる教科書)を指定しておりませんので、事前に該当箇所を通読して疑問点を整理しておくなどの予習は難しいと思います。そこで、ホームワークとしては復習的な活動が主になります。とりわけ、参考図書として複数の書籍や映像資料などを授業時にご紹介いたしますので、そうした文献等を参照していただくことが、授業内容の理解を深めることに役立つことと思います。あるいは、その際に疑問点が出てくるかもしれませんので、そうしたことを次回の授業等で発表していただくことも有益ではないかと思えます。

18. オンライン学習での学び方

全回出席は前提となりますが、共に学ぶもの同士のコミュニケーション、教員とのコミュニケーションなどを通して、積極的に授業に参加し、学習内容を生きた技術として身につけ理解するような、積極的な姿勢が望まれます。

1. メールによる情報交換

この授業では、受講生一講師間での、授業用資料の送付やレポート類の提出を、メールに添付文書して送る方法で行います。

受講生同士の意見交換等は是非行っていただきたいのですが、その場合の連絡先の交換は、受講生同志で行ってください。Zoomのチャットなどをご活用ください。

2. Zoomでの参加について

①この講座は、Zoomで参加いただいておりますが、ウェビナー方式ではなく、ミーティング方式での参加になっています。これは、「インタラクション(意見交換など)のない授業は、「授業」ではない」という、最近のアクティブラーニングの考え方を反映しているためです。(この詳しい内容は、授業中に触れます)というわけですので、この授業は単に聞くだけではなく「参加」が前提です。又、受講生同志での意見交換の機会を多く設けますので、ぜひ、ともに学ぶ仲間を増やしてください。

②従って、授業中は基本的に、映像をオンにしてご参加ください。

③音声は騒音が入ってしまうと困るので、原則ミュートにしておいていただきたいのですが、状況に応じてすぐにミュート解除できる様にしておいて下さい。

④講義中に質問や意見等がある場合は、チャット機能を使って質問(意見)を送るか、発言したいという意思表示を行ってください。(ご発言いただける様、こちらから指名します)手を挙げて連絡して下さるのも可ですが、こちらでは一人一人の画像が小さいので、見落とす場合があります。

⑤授業中に資料の共有として資料(原則として事前配布)を示す場面が、多々あります。出来るだけ、おおきな画像が見られるか、事前のプリントなどしてしまうかして、使えるようにしてご参加ください。

⑥授業を進めながら、この授業での Zoom への参加の仕方や、守るべき内容等について、皆さんと共に、一定のルールを創っていきたいと思いますので、どんどんご提案下さい。

⑦この授業の Zoom の ID とパスコードなどは以下の通りです。(全回、同じ)

URL: <https://zoom.us/j/>

ミーティング ID

:

パスコード

: